

第244回 番組審議会

1. 日 時 平成27年7月14日 (火) 12:00～
2. 場 所 メトロポリタン盛岡NEW WING 3F「星雲 東の間」
3. 委 員 委員総数 10名
出席委員数 8名 (欠席委員数 2名)

○ 出席委員 (敬称略)

鈴木 厚人 (委員長)
九萬原 敏巳 (副委員長)
—以下50音順—
石田 征広
加藤 裕一
久慈 浩介
菅原 正二
役重 真喜子
吉田 浩次

○ 会社側出席者 (7名)

佐藤 滋樹 (代表取締役社長)
小原 忍 (取締役副社長)
藤原 銀司 (常務取締役)
前田 秀男 (取締役技術局長)
工藤 浩 (取締役営業局長)
菊地 十郎 (報道部長)
高橋 裕二 (報道部主任)

○ 事務局 佐々木 久仁子

4. 議題 「mit みんなのニュース」

平成27年6月18日(木) 17:54~19:00放送

5. 議事概要

今回は、6月18日に放送した「mit みんなのニュース」を審議しました。議事の概要以下の通りです。

●岩手めんこいテレビ菊地報道部長からの説明

- ・「mit みんなのニュース」は、安藤優子さんがメインキャスターを務めていた「スーパーニュース」に変わり4月よりスタートした新しいニュース番組。“みんなのためになるニュース”を放送していこうという思いから、このタイトルになった。真相を掘り下げるため全国ニュースでは様々なジャンルのコメンテーターが出演している。
- ・岩手のローカルニュースは、スポーツや震災復興など曜日ごとにコーナーを設けている。
- ・報道部員は32人。そのうちニュースデスクは2人で、1人はその日のニュースをもう1人は翌日を中心に準備をする体制。

●岩手めんこいテレビ高橋主任からの説明

- ・2人のニュースデスクでコミュニケーションを取り、めんこいテレビのニュースとして一貫性をもって報道できるよう価値基準や判断基準に差が出ないように心がけている。
- ・6月18日の放送は、復興関連の話題が多かった。「響け！復興の槌音」のコーナーの宮古盛岡横断道のトンネル工事に電力を供給する話題では、復興は、日頃目立たない仕事をしている人に支えられていることを取り上げた。一日一項目は震災関連の話題を入れ、辛い現実も皆で共有しようというメッセージを込めている。

●出席した委員からの意見

- ・ローカルニュース「響け！復興の槌音」のコーナーで電気事業を放送していたが、良いところに着目したと思った。
- ・あれもこれも盛りだくさんではあるが、あまり深刻さがなく、明るく楽しくみんなに伝えるムードがあって良かったのではないかと。
- ・全国ニュースとローカルニュースのトーンにギャップを感じた。全国ニュースは軽量感が否めない一方で、ローカルニュースは、地に足がついた取材をしていて好感が持てた。
- ・平成の大合併により「〇〇市」というだけでは場所を特定しにくくなった。特に災害のニュースでは、地名の言い方について再考してほしい。
- ・SNSで話題になっていることを紹介するコーナーでは、ただ伝えるだけではなく責任を持った立場で情報を伝えるマスメディアとして、分析的、批判的な視点を持ってSNSの話題にもう一步踏み込んで行く、そういう関係を構築してほしい。
- ・「スーパーニュース」とはガラリと違うニュースになったなという印象。個人的にはライトタッチで見やすいと思った。
- ・天気情報は、かなり工夫されていて見やすく、聞きやすいという印象。絶対にめんこいの天気を見たいと思わせる工夫を入れたら良いと思う。
- ・全国ニュースには取り上げなくても良いのではないかとと思われる項目もあった。項目を絞り込んで伝えたいものを深掘りして正確に伝えることが重要だと思う。
- ・ローカルニュースとしては、身近な地域の話、季節感を感じる話題を入れて欲しい。

・全国ニュース、ローカルニュースを通して見て、今の世相を非常によく反映していると感じた。

6. 審議機関の答申又は改善意見に対してとった措置
特になし

7. 審議機関の答申意見概要を公表した場合におけるその公表内容、方法及び年月日

※平成27年7月15日(水) 産経新聞 東北版

※平成27年7月25日(土) 午前4時30分から午前4時45分まで「めんこいテレビ 批評」として放送。

※据え置き書類を作成し、本社受付に置き一般の人々が自由に閲覧できるようにした

8. その他の参考事項
特になし

※次回は9月8日(火)12時より 当会場にて開催予定です。